

# ● 保健福祉局の運営にあたって

## 取組姿勢

昨年度は、平成 23 年 1 月から子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの無料接種事業を開始したほか、新型インフルエンザ対策として、行動計画の見直しに向けたプロジェクト会議等の開催、全年齢を対象とした、低所得者に対するインフルエンザワクチン接種費用の全額助成事業の実施などを行いました。

今年度の取組としては、市内の医療資源の効率的な活用、医療関係施設間の機能の分化や連携の推進を通じて、急性期から回復期まで切れ目のない医療の提供を実現することにより、市民が安心できる医療提供体制の構築を目指して、札幌市医療計画を策定します。

さらに、22 年度末に策定した「さっぽろ食の安全・安心推進ビジョン」に基づき、事業者の自主的な取組を推進する協定事業、市民モニター事業、大規模食中毒を想定した図上訓練の実施など、市民の皆さんと一緒に「安全・安心な食のまち・さっぽろ」を目指して取り組むとともに、魅力ある札幌の食のブランドを通じた観光振興及び食産業の基盤となる安全性の確保に努めます。

これらの施策を進めていくにあたり、市民への積極的な情報提供に努めるとともに、実施部門である各区保健センターや科学的拠点としての衛生研究所などと連携して、局運営にあたってまいります。

## 最重点項目

札幌市地域医療体制の  
整備計画策定

安全・安心な  
食のまち・さっぽろ推進事業

平成 23 年（2011 年）4 月

保健福祉局医務監 渡 部 正 行